

竹原管内景況調査

3月の景況DIは、製造業、非製造業ともに悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和元年3月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

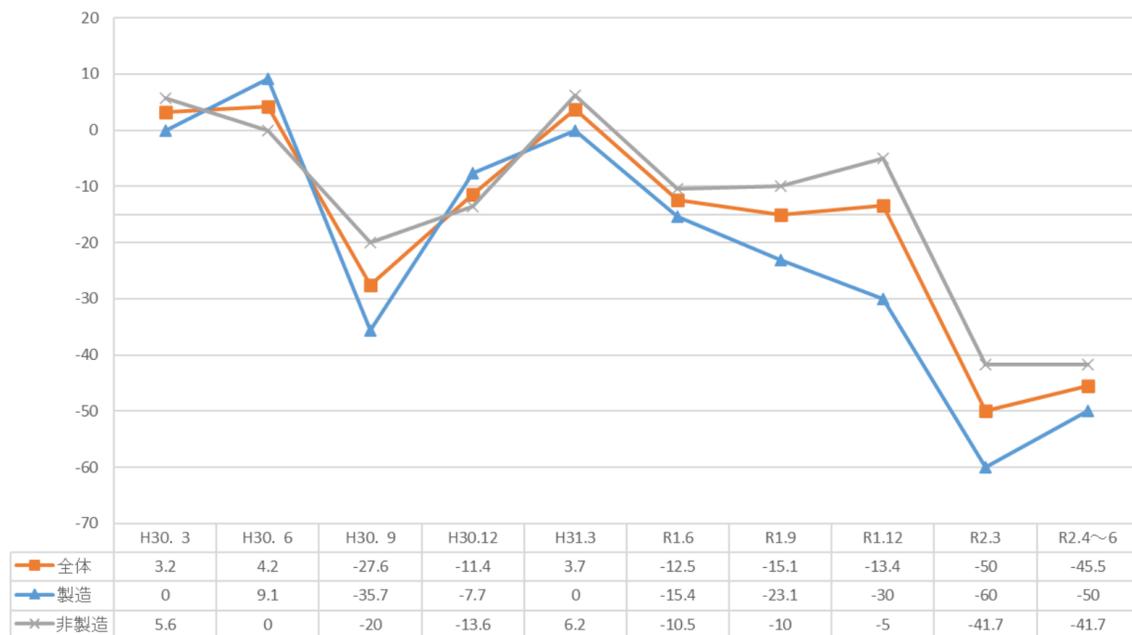
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和2年3月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	10
建設	6	2
小売	13	3
サービス	17	7
合計	53	22

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



3月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は30ポイント悪化し、非製造業は36.7ポイント好転しています。3月と比べて4月～6月までの見通しは、全体では、4.5ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

《製造業》

- ・新型コロナウイルス等の影響による受注量減(合成樹脂)
- ・天候による生産量の減少のため(農業)

《非製造業》

- ◇建設業 ・平成30年度豪雨災害復旧工事の受注が多かったため(建築工事)
- ◇小売業 ・消費税アップと新型コロナウイルスによる来店者数の大幅減少(スーパー)
・新型コロナウイルスで食品以外が悪化。それを食品でカバーしている(スーパー)
- ◇サービス業
・旅館部門の売り上げが減少した(旅館)
・人員不足、消費税増税、新型コロナウイルスの影響がでている(デイサービス)

●新型コロナウイルス感染症の拡大による企業活動への影響についてお聞かせください

《製造業》

- ・展示会の中止、中国、ヨーロッパ、アメリカの景気後退の影響がでる恐れがある。(機械)
- ・出張中止による営業不足及び受注遅れ等(鉄工)
- ・客先への訪問が難しく、契約が取れない(合成樹脂)

《非製造業》

- ◇サービス業
・卒業式、入学式の袴レンタルや集合写真に影響がある(写真館)
・毎年ある団体客の予定が中止、延期の可能性が有る。(旅館)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)